

南区幼保小連携推進協議会便り

第1号 令和4年6月21日 発行
南区幼保小連携推進協議会代表者

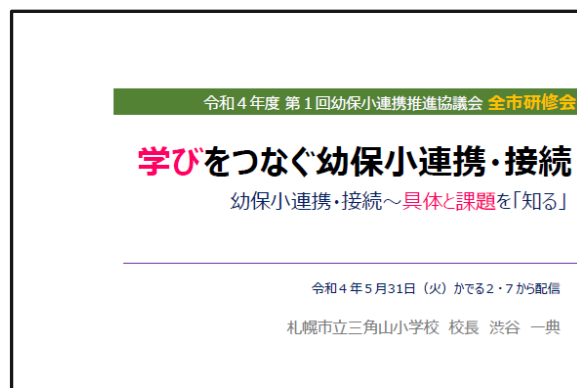
令和4年度 第1回南区幼保小連携推進協議会が、5月31日(火)にもいわ地区センターで開催されました。令和元年以来3年ぶりの集合研修ということで、対面できたうれしい気持ちが会場に満ちていて、あちこちで園・学校の再会を喜び合う姿が見られました。

総勢76名(42団体)～小学校19校(32名)、特別支援学校2校(2名)、幼稚園8園(22名)、保育所8園(11名)、こども園5園(9名)が参加し、前半は初の試みである『全市共通研修形式』でオンラインによる趣旨説明と講演会、後半はブロック交流で講演についての意見交流やスタートカリキュラムの紹介などが行われました。

ブロック交流では、自己紹介を交えて講演の感想を出し合いました。感想からいくつかご紹介します。

《講演の感想より》

- ・動画の活動の様子を見て、そこに至るまでの幼児同士の思いのぶつかり合いや、壁にぶつかったときの乗り越え方などを知りたいと思った。(小学校)
- ・引き継ぎの中身が、生徒指導の側面に偏っているという話題に共感した。多様な学びにつながる側面にも光を当てたい。(幼稚園)
- ・幼児施設の保育の様子を一年担任が見る機会がもてると、今後の指導につながると思った。(小学校)



- ・幼保小で、具体的な取組や活動を子どもの姿を通して交流していきたい。(保育園)
- ・『遊びを通して学ぶ』大切さを感じながら、一方で、なかなか取り入れられない小学校の実態がある。生活科を中心に、学び方を改めて考え直す必要があると感じた。(小学校)
- ・幼児期と児童期の円滑な接続の大切さを改めて感じた。円滑な接続のためには、共通の視点『幼児期の終わりまでに育ってほしい(10の)姿』

を通して見ることが大切である。どの子も安心して学校生活を送ることができるようにするために『スタートカリキュラム』を編成している。(小学校)

後半の**ブロック交流**では、各ブロック小学校の司会の先生が中心となり『**本校のスタートカリキュラムと現1年生の様子について**』の**話題提供**をしてくださいました。話題を提供して下さった先生方、ありがとうございました。40分があっという間に過ぎるほど、皆様から積極的にご意見を出していただけたのではないのでしょうか。なお、資料編として、藻岩北小学校と澄川南小学校のスタートカリキュラムをご紹介させていただけることになりました。ぜひ、もいわ幼稚園のHP『幼保小連携』のページよりダウンロードしてご覧ください(パスワードは『**minamiku**』です)。写真やレイアウトなど、多少編集させていただいておりますので、ご了承ください。



1 ブロック



2 ブロック



3 ブロック



4 ブロック



5 ブロック

◇第2回 南区幼保小連携推進協議会の御案内(予定)



日時 10月18日(火) 15:00~16:45

場所 未定 *集合研修を予定しておりますが、状況によりオンライン研修になるかもしれません。

内容 ブロック研修

「幼児の育つ姿を見取ろう! そして、1年生の育ちにどうつなげるのか考えよう!」

*今回、幼児施設側からの資料提供についてお知らせしましたが、詳細につきましては、全市の取組について分かり次第、改めてお知らせいたしますので、お待ちください。

【地域教育相談の御案内】 もいわ幼稚園571-5850

札幌市立もいわ幼稚園では、札幌市教育委員会(幼児教育センター)で受ける教育相談と同等の相談を受けることができます。子育ての悩み、お子さんの発達についての相談、就園や就学の情報提供など、相談者のニーズに応じた相談を受けています。必要な保護者の方にご紹介ください。